

# インディアカ公式記録用紙の記録方法

## 1. はじめに

記録用紙は、競技者の位置、サービスの回数、サービス順、競技者交替、タイムアウト、得点、審判団などのゲーム進行を記録した唯一の証拠であり、ゲーム進行を円滑ならしめるものであります。

記録は正確かつ迅速、きれいに記入し、書き違いがないよう慎重を期することが大切です。

## 2. 公式記録用紙（別紙）の「セット表」について

- (1) 記録用紙は、上段に大会名や競技種別など大会の顔となる「大会名等の表」、ゲームを運営する「審判団役員サインの表」、ゲームの結果と進行内容を記録する「ゲーム結果表」の3表が配置され、下段には各セットの競技者の位置やサービスの回数、サービス順などゲーム進行をチェックする3セット分の「セット表」が配置されています。
- (2) 「セット表」は、「セット表」の真ん中にネットがあるものとして左右のコートを区分してゲーム進行を記録する方法が取り入れられています。
- (3) 「競技者」欄は、①～④の空枠に各チームから提出されたサービスオーダーに沿って、ラインアップ競技者の番号を記入し、両チームのコート内競技者を確認すると共にゲーム進行の基本となる欄です。
- (3) 「交替競技者」の欄は、3回の競技者交替をチェックする。「交替競技者」欄の上の「競技者」欄の①～④の各枠の縦枠と連動しており、上枠は1回目の交替、中枠は2回目の交替、下枠が3回目の交替でコートに入る競技者の番号を記入します。
- (4) 「サービス順」の縦欄は「チームの競技者」欄の①～④の各枠のサービス順の縦枠で、1から6の小文字が記載された6つの枠に分割されている。これらの枠は、ラインアップ競技者のサービス回数とサービスを終了したか否かをチェックする。1から6の小文字に[レ]印を記入することによりサービス開始・継続中がチェックされます。
- (5) 「競技者」欄の①～④の各枠の右側にはチームの得点欄があり1～32点まで記載されている。この「得点」欄は、そのチームの得点を記録する欄で、サービスを行使していた競技者が得たポイントを1点～32点まで順番に[／]の印で消していく。チームがサービスを失ったとき[／]の印で消されている数字がそのチームの得点となる。  
チームがサービスを失ったとき、サービスを行使していた競技者を示す枠の中に得点欄の点数に[／]印されている最後の数字を記入します。
- (6) チームの「得点」欄の下方のT（タイムアウト）は、チームのタイムアウトの取得をチェックする個所である。チームからタイムアウトが要求されたとき[レ]印でチェックします。

(7) 表「セット3」は、いずれかのチームが11点を先取したときのチェンジコートを経由して公式記録用紙上で行うため「チーム(A)」の欄を最右欄に設けてある。用紙上の移行は最右欄の「得点」欄の数字をチーム(A)枠の取得点分を縦線で全て消します。

### 3. ゲーム開始前の記入の手順

#### (1) 大会名等の記入

記録用紙の「大会名等の表」に①大会名、②開催日、③開催会場、④コート、⑤回戦、⑥種別(男子・女子・男女混合・シニア男女混合・シニア女子)を記入します。

※大会主催側で事前に記入されている場合があります。

大会名	第〇〇回〇〇インディアカ大会
開催日	〇〇年〇〇月〇〇日
開催会場	〇〇市民体育館

第〇〇コート	第〇〇回戦
種別	・男子 ・女子 ・男女混合 ・シニア男女混合 ・シニア女子
試合開始	開始 時 分～ 時 分
所要時間	分

※種別は○印を付けます。

#### (2) チーム名及び競技者番号の記入

1) 記録員は、サービスかプレイングコートを取るかを定めるジャンケンした後、サービングチーム名とレシービングチーム名を主審又は副審に確認し、記録用紙の「ゲーム結果表」に記録員から見て、左側コートのチームはA欄にチーム名を記入、右側コートのチームはB欄にチーム名を記入します。

チーム名		セット	チーム名		
A	〇〇〇チーム		〇〇〇チーム	B	
T	交替	得点	得点	交替	T
		①			
		②			
		③			
得セット数		対	得セット数		
主将		主将			
サイン		サイン			

2) 記録用紙の表「セット1」のチーム名欄に記録員から見て左側の枠に「ゲーム結果表」のAを記入し、右側の枠にBを記入する。続いて最初にサービスするチーム名の枠の(S)に[レ]印を記入します。

※チーム名の枠にはチーム名を記入することもできます。

- 3) 記録用紙の表「セット1」のそれぞれのチームの「競技者」欄の①～④の枠に各チームから提出されたサービスオーダーに沿って、ラインアップ競技者の番号を記入する。続いてレシービングチームの「サービス順」欄の1番のサーバーの枠全体を[×]印を記入します。

セット1											
チーム名					得点	チーム名					得点
A		S				B		S			
競技者	①	②	③	④	1	競技者	①	②	③	④	1
					2						2
	2	4	1	3	3		4	5	6	8	3
交替 競技者					4	交替 競技者					4
					5						5
					6						6
					7						7
サ					8	サ					8
	1	1	1	1	9		1	1	1	1	9
					10						10
	2	2	2	2	11						11
					12		2	2	2	2	12
					13						13
	6	6	6	6	32	6	6	6	6	32	
					T					T	

#### 4. ゲーム開始・ゲーム中の記入の手順

- (1) 最初のサービスは、「競技者」欄の①の縦枠にあたるサービス順枠の1の小文字を[レ]印によってチェック。相手チームにサービスが移行したとき、[レ]印がついた番号1枠下空白にそのチームが得た全得点、「得点」欄の点数が[／]の印で消されている最後の点数を記入する。点数が記入されることにより①の競技者のサービスが終了したことを表している。続いて相手チームの「得点」欄の点数を「／」印で記録します。
- (2) サービスが移行したチームのサービスは、セット1欄の反対側の区分に移る。このチームは競技者の位置をローテーションするので、セット1欄にあたる「競技者」欄の①縦枠の「サービス順」枠の①枠を[×]で消されてあるので、「競技者」欄の②枠の小文字番号1を[レ]印でチェックします。
- (3) 以降ラリーの結果が出るごとに、主審のポイントを示すハンドシグナルを確認し、以上の手順を繰り返します。

- (4) 1回目の競技者交替のときは、「交替競技者」の欄の上枠にコートに入る競技者の番号を記入する。記録員はこの時にそれが正規の交替ならば片方の手で合図をし、記入終了後直ちに主審・副審に両手で合図する。その交替が3回目の時は指で回数を示します。
- (5) タイムアウトが許可されたとき、チームの「得点」欄の下方の T (タイムアウト) を [レ] 印で取得をチェックします。
- (6) 表「セット3」の欄は、いずれかのチームが11点を先取したとき、チェンジコートにより「チーム(A)」枠が最右欄に移行する。得点の移行は最右欄の「得点」欄の点数を最左欄のチーム(A)枠の取得点分を縦線で全て消します。  
この記録の移行完了でゲームが再開する。
- (7) 記入のポイント(注意点)は、グッド、アウト、反則等を記録者自身が判断しないようにする。すべて主審のポイントを与えるハンドシグナルの結果を記録する。  
ラリーポイント制は、ラリーの結果に対する左右の移行が早いですから息を抜くことができない。集中してよく見て記録する。
- (8) 公式記録用紙の表「セット」の記入の要領は、表「セット」の真ん中にネットがあるとして左右のコートよく見るのだが、目線が記録用紙から離れることから、サーバーがサーブ行使用している枠に指を置いておくとよい。  
指は左から右へ一枠ずつ横移動させると分かりやすい。

## 5. ゲーム終了の記入の手順

- (1) 記録員は、主審のゲームセットのハンドシグナルを確認すると同時に計時しゲーム時間を確認する。その後直ちに、記録用紙の全てのチェックを確認し、右上部の「ゲーム結果表」にセットごとの記録を記入すると共に主審の最終判定に間違いがないかを確認します。
- (2) 記録員は、主審による最終判定のコールを確認した後、「ゲーム結果表」の記入内容を再確認し、両チームのキャプテンに「ゲーム結果表」確認させサインを求めます。  
続いて「審判団役員サイン」欄に、記録員、線審、副審、主審の順に記録用紙の記録内容を確認させサインを求めます。

## 6. その他

- (1) セット間のタイム中は、記録用紙への記入を早めるために出来るだけ早く両チームの「サービスオーダー」提出を副審に求めます。
- (2) サーバー間違いの判断は、記録員が行うので間違ったサーバーを認識したら、サーバーをよく見て、サービスをした瞬間に副審に対して「誤ったサーバー」を通告します。

(3) 第3セットの準備は、記録用紙の表「セット3」A・B両チーム「競技者」欄の①～④の各枠に競技者番号を記入することはもとより、「チーム(A)」欄が最右欄に移行する枠にも競技者番号を記入しておくこととスムーズに進められます。